

令和 5 年度 自殺対策計画 取組目標評価表 (1-1)

項目名	半田市いのち支える自殺対策推進協議会		担当課	福祉部健康課		
指標種別	地域におけるネットワークの強化に関する指標					
大分類	1 基本施策					
小分類	(1) 地域におけるネットワークの強化					
指 標	半田市いのち支える自殺対策推進協議会の定期的開催					
期間・目標値	令和 2 年度→令和 5 年度		延べ 5 回以上実施→年に 1 回以上の実施			
実施状況 評価・結果等	期間	31年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	目標値	延べ 5 回以上実施→年に1回以上開催				
	実績値	1	2	2	1	1 (見込み)
	達成率	100%	200%	200%	100%	
	＜評価・結果＞ 令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けず、委員を集めて開催しました。協議会では、自殺対策推進計画の進捗状況と、次年度の実施事業の方向性の協議を行いました。					
課題	自殺対策を地域づくりとして地域全体で取り組むことが重要です。そのために、市民・地域・企業・民間団体・学校・行政などが相互に連携・協働する仕組みを構築し、ネットワークの強化に努める必要です。					
今後の方向性	目標の回数は達成していますが、計画の進捗確認及び評価を行うとともに関係機関のネットワーク強化を図ることで自殺対策が推進できると考えます。そのため、次年度以降も協議会を実施していきます。 令和 6 年度にあたっては、次期計画策定の年となります。健康増進計画と整合性を図りながら、次期計画を策定していきます。					

(令和 5 年 9 月末時点)

令和 5 年度 自殺対策計画 取組目標評価表 (2-1-2)

項目名	ゲートキーパー養成講座		担当課	福祉部健康課		
指標種別	自殺対策を支える人材の育成に関する指標					
大分類	1 基本施策					
小分類	(2) 自殺対策を支える人材の育成					
指 標	市職員向け・市民向けゲートキーパー養成講座の実施回数					
期間・目標値	平成31年（令和元年度） ～令和 5 年度		毎年 3 回以上実施			
実施状況 評価・結果等	期 間	31年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	目 標 値	3	3	3	3	3
	実 績 値	3	3	5	8	5 (見込み)
	達成率	100.0%	100.0%	166.7%	266.7%	
	＜評価・結果＞					
	令和 4 年度は、市内保育園、幼稚園の園長や市内小中学校の生徒指導担当の教諭、市の新入職員、JFEや住友生命などの企業を対象に講座を実施しました。 令和 5 年度は、市内 2 中学校の教職員、市の新入職員、明治安田生命などの企業を対象に講座を実施します。また、自殺者の原因・動機に健康問題が圧倒的に多いことから、医療機関や訪問介護・訪問看護等の事業所にも出前講座の周知を行いました。					
課 題	自殺の問題を我が事として、そして社会の問題として捉えてもらうことが重要であることから、今後も養成講座を実施していきます。また、「ゲートキーパー」について、より多くの市民に役割を理解してもらえるよう、対象者を広げて実施していく必要があります。					
今後の方向性	今後も引き続き、市民向け及び市職員向けのゲートキーパー職員を実施していきます。 市内中学校の残る 3 校については、次年度実施し、2 年間で全市内中学校の教職員に対して実施が完了する予定です。企業に対しても、商工会議所や庁内関係機関の協力を得て、ゲートキーパー養成講座の実施を広報し、市民と関わる関係機関の方を対象とした養成講座の実施も進めていきます。					

(令和5年9月末時点)

令和5年度 自殺対策計画 取組目標評価表(2-2)

項目名	にじいろサポーター養成		担当課	福祉部地域福祉課		
指標種別	自殺対策を支える人材の育成に関する指標					
大分類	1 基本施策					
小分類	(2) 自殺対策を支える人材の育成					
指 標	にじいろサポーター養成人数					
期間・目標値	平成31年（令和元年度） ～令和 5 年度		毎年養成人数30人			
実施状況 評価・結果等	期間	31年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	目標値	30	30	30	30	30
	実績値	116	—	24	20	30 (見込み)
	達成率	386.7%	0%	80%	67%	
	＜評価・結果＞					
	地域における見守り体制の強化のため、地域サロン等のボランティアスタッフを対象ににじいろサポーター養成講座を開催しています。令和 5 年度も引き続きサロン等のボランティアスタッフに対して講座を実施する予定です。（実施時期調整中） また、令和 4 年度末までに、にじいろサポーター養成講座の受講者数は、延べ332人となっています。					
課題	これまで地域の集いの場である地域サロン等のボランティアスタッフを対象ににじいろサポーター養成講座を開催してきましたが、見守りの裾野を広げるため、今後は養成講座の対象者の拡大を検討する必要があります。					
今後の方向性	引き続き、にじいろサポーターの養成に努め、地域における見守り体制の強化を図ります。					

(令和5年9月末時点)

令和5年度 自殺対策計画 取組目標評価表(3-1)

項目名	悩み事各種相談窓口一覧表の作成及び配布		担当課	福祉部健康課		
指標種別	市民一人ひとりの気づきと見守りの促進に関する指標					
大分類	1 基本施策					
小分類	(3) 市民一人ひとりの気づきと見守りの促進					
指 標	悩み事各種相談窓口一覧表の作成及び配布					
期間・目標値	平成31年（令和元年度） ～令和5年度		毎年1,500部配布			
実施状況 評価・結果等	期間	31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	実績値	1,677	1,990	2,500	3,255	3,500 (見込み)
	達成率	111.8%	132.7%	166.7%	217.0%	
	＜評価・結果＞ 市民一人ひとりが日々の暮らしの困りごとや相談できるように窓口一覧表を作成し、市内公共機関のほか、民間団体・市内調剤薬局等にも配布しています。令和5年度からは、ゲートキーパー養成講座や子育て世代を対象とした事業など、各講座参加者へも配布しています。					
課題	悩みごとが大きくなる前に適切な相談窓口で相談ができるよう、一覧表の作成を行い、相談窓口の周知を広く行っていくことが必要と考えます。より多くの場所に設置・配布し、市民の目に留まる機会を増やすことが必要です。					
今後の方向性	引き続き、紙での配布に加え、より幅広い世代へ情報が届くよう、ホームページの充実やSNSでの情報配信などを行っていきます。また、健康課のみならず、庁内関係機関の会議等や、住民健診等で配布することで本人のみでなくその周りの方への普及啓発を行っていきます。					

(令和5年9月末時点)

令和5年度 自殺対策計画 取組目標評価表 (4-1)

項目名	乳幼児健康診査		担当課	子ども未来部 子育て相談課		
指標種別	子ども達の生きる力を育てる支援に関する指標					
大分類	1 基本施策					
小分類	(４) 子ども達の生きる力を育てる支援					
指 標	乳幼児健康診査受診率（３か月児・１歳６か月児・３歳児）					
期間・目標値	平成31年（令和元年度） ～令和５年度		毎年99.5%以上			
実施状況 評価・結果等	期間	31年度 (令和元年度)	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
	目標値	99.5	99.5	99.5	99.5	99.5
	実績値	99.4	99.1	99.1	99.4	— (※年度末に集計)
	達成率	99.9%	99.6%	99.6%	99.9%	
	＜評価・結果＞ 受診日の変更等を柔軟に対応し実施し、受診率向上を図りました。実績は目標値を若干下回りましたが、健診を受診していない児に対しては、家庭訪問等を実施し、すべての児の家庭状況等を把握をすることができました。					
課題	子どもが健やかに成長・発達するためには、保護者自身の心が安定していることが重要です。そのため、子どもの成長・発達面だけではなく、保護者の心身状況や育児に対する思い等についても把握し、必要な支援を行っていくことが重要であると考えます。					
今後の方向性	健診時には、子どもの発達面のみでなく、保護者の心身状況も適切に把握し、支援をしています。					

(令和5年9月末時点)

令和5年度 自殺対策計画 取組目標評価表(4-2)

項目名	小・中学生向け普及啓発		担当課	教育委員会学校教育課		
指標種別	子ども達の生きる力を育てる支援に関する指標					
大分類	1 基本施策					
小分類	(４) 子ども達の生きる力を育てる支援					
指 標	子ども相談ダイヤル（仮称）設置の検討					
期間・目標値	令和５年度		子ども相談ダイヤル（仮称）設置			
実施状況 評価・結果等	期間	31年度 (令和元年度)	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
	目標値					ダイヤル設置
	実績値	ダイヤル設置	ダイヤル設置	ダイヤル設置	ダイヤル設置	ダイヤル設置
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	＜評価・結果＞					
	学校教育課に「サポート相談窓口（学校教育課内の直通電話）」を設置し、教育相談員が電話及び来庁による相談活動や個別の支援を行っています。４年度に相談員を増員し、伴走支援にも重点的に対応しています。対応実績は、前年の同時期と比較して同程度ですが、一度対応するだけでは解決できない問題も多く、複雑化・多様化する児童生徒や保護者の背景課題に伴走支援し相談者に寄り添った支援を進めています。 【参考】 令和４年３月末現在 来所212件、電話923件、訪問1319件、巡回992件、ＳＮＳ等20件 令和５年３月末現在 来所236件、電話1048件、訪問1267件、巡回786件、ＳＮＳ等9件					
課題	相談内容が、一見児童生徒に関する問題のように見えても、実際には保護者の考え方の問題、養育の問題、経済的な問題、愛着の問題、家族の問題、保護者の精神状態等、背景に多くの問題が内在しているケースが増えています。特にコロナ禍や急激な社会状況の変化を経て、家庭環境による背景が複雑化しています。そして、学校に対する要求も高くなっており、保護者の理解を得ることが難しいケースも増加しています。このような中、多機関連携のマネジメント力や教育・心理・福祉に関する知識・理解など、教育相談員の力量やSSW等の専門職との連携支援が問われるようになってきました。					
今後の方向性	教育相談員とＳＳＷの役割分担を明確にしたり連携のあり方を構築したりするなど、年々増加する児童生徒・保護者からの相談や問題解決に向けて、十分対応できるようにしていきます。令和５年度も教育相談員を５中学校区に１人ずつ配置し、SSWを市内全体対応とし相談体制の充実を図っていますが、まだ対応できていない潜在的なニーズがあると考えています。特に教育現場に福祉の専門職としてSSWの増員が求められていることから、SSW増員を喫緊の検討課題としています。また、全生徒に配布されたタブレット端末を利用し相談できる体制を構築しましたが、利用が少ない現状にあり、複雑化・多様化する問題に、いつでも、誰でも、様々な方法で気軽に相談できる環境を整えていることを今まで以上に周知していきます。					

(令和5年9月末時点)

令和5年度 自殺対策計画 取組目標評価表 (5-1)

項目名	地域でのストレスチェック		担当課	福祉部健康課		
指標種別	生きることへの促進要因への支援に関する指標					
大分類	1 基本施策					
小分類	(5) 生きることへの促進要因への支援に関する指標					
指 標	地域でのストレスチェック実施回数					
期間・目標値	平成31年（令和元年度） ～令和 5 年度		毎年20回以上			
実施状況 評価・結果等	期間	31年度 (令和元年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	目標値	20	20	20	20	20
	実績値	37	20	20	20	10 (見込み)
	達成率	185%	100%	100%	100%	
	＜評価・結果＞					
	令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、唾液を使ったストレスチェックの実施を見合わせ、感染リスクの低い健康機器（自律神経バランス測定）を使用した測定とこころのアンケートを実施しました。 令和 5 年度は、全国・市内感染状況や対象に応じ、唾液を使ったストレスチェックや感染リスクの低い健康機器を使用した測定と、こころのアンケートを実施していきます。この事業の主な開催場所となっている住民健診では受診率が低下しているため、受診率の高い 7 会場に限定し、代わりに住民健診以外の場所で幅広い年齢に実施します。					
課題	今後、健康機器を利用した測定やこころの関するアンケートなどを活用し、幅広くこころの健康について考える機会を提供できるよう体制を整え、普及・啓発に努める必要があると考えます。					
今後の方向性	今後も若年層を含め、幅広い世代の方へのストレスチェックやマインドチェックを実施していきます。また、測定のみでなく、アンケートや啓発チラシを配布し、セルフケアについて促していきます。					

(令和5年9月末時点)

令和5年度 自殺対策計画 取組目標評価表(6-1)

項目名	介護予防・日常生活支援総合事業 （地域介護予防活動支援事業）		担当課	福祉部健康課		
指標種別	高齢期に関する自殺対策の推進に関する指標					
大分類	2 重点施策					
小分類	（１）高齢期に関する自殺対策の推進					
指 標	げんきスポット数（地域介護予防活動支援補助団体数）					
期間・目標値	平成31年（令和元年度） ～令和５年度		げんきスポット数250団体			
実施状況 評価・結果等	期間	31年度 （令和元年度）	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
	目標値		250	250	250	250
	実績値	213	214	202	210	209 （※年度末に集計）
	達成率	85.2%	85.6%	80.8%	84.0%	
	＜評価・結果＞ コロナ禍で廃止や休止の団体が多く、令和３年度実績が202団体とコロナ前に比べて減少したところ、令和４年度実績は210団体に伸びました。 コロナ禍前の活動に戻りつつある中で、参加者自身が地域での人と人とのつながりの必要性をより強く感じ、高齢者の孤独・孤立の予防が図られていると考えます。					
課題	高齢者にとって、介護予防のための孤独・孤立を避ける居場所は必要で、閉じこもりがちな高齢者を広く受け入れ、地域の受け皿となるような「通いの場」の充実が図れる方法を検討していきます。					
今後の方向性	引き続き、住民主体の「通いの場」を充実させていきます。					

(令和5年9月末時点)

令和5年度 自殺対策計画 取組目標評価表(7-1)

項目名	生活困窮者支援会議 (ふくし“まるごと”会議の一部)		担当課	福祉部生活援護課		
指標種別	生活困窮に関する自殺対策の推進に関する指標					
大分類	2 重点施策					
小分類	(2) 生活困窮に関する自殺対策の推進					
指 標	生活困窮者支援会議（令和3年度から「ふくし“まるごと”会議」）への参加機関数					
期間・目標値	令和5年度		参加機関数14機関			
実施状況 評価・結果等	期間	31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	目標値					14
	実績値	15	15	16	16	16
	達成率	107.1%	107.1%	114.3%	114.3%	114.3%
	＜評価・結果＞ 令和3年度に1機関を加え、計16機関で生活困窮者支援会議を開催（「半田市ふくし“まるごと”会議」の一部として開催）しています。（※社協内に障がい者相談支援センター、包括支援センター等々あるが、1機関として計上。） 会議では、希死念慮のある方も含め複合的な課題を抱える対象者等についての情報共有を図り、支援方針等について検討を行っています。その中で、希死念慮が強いと判断した場合は、医療機関へつなぐことも視野に入れ、健康課保健師とともに面談や対象者宅を訪問するなどし、自殺が発生しないよう注意を払っています。					
課題	支援会議の中で取り扱われるケースのうち、希死念慮が表面化していない、もしくはその予備軍のような対象者については、早期把握・早期対応に努めていく必要があります。長引くコロナ禍に加えて物価高騰の影響もあり、依然として、自立相談支援機関「くらし相談室～あんしん半田～」(生活援護課内)においては、派遣・パート就労者、外国籍市民、無業者やひきこもりを抱える家族、低年金の高齢者などからの経済的窮状を訴える声が後を絶ちません。相談者が抱える課題が複合化・複雑化（経済的困窮＋α）し、直ぐに解決に至らないケースも増えています。世の中の閉塞感も相まって、先の生活が見通せず精神的に不安定になったり、自暴自棄になったり、自殺を仄めかす相談者もいることから、今後自殺者が増えていくのではないかと不安視しています。					
今後の方向性	参加機関（＝支援者）が増えることで、複合的な課題を抱える対象者に対して、多角的な視点の中での横断的なアプローチが可能となります。各々の機関が役割分担をし、伴走的な支援を展開していくことで、自殺者減の一助になるとよう努めていきます。					

令和 6 年度 第 2 次半田市自殺対策計画の策定について

1 計画の概要

本計画は、「自殺対策基本法」に基づき、策定が義務付けされている市町村計画であり、国が定める「自殺総合対策大綱」、愛知県の定める「第 3 期あいち自殺対策総合計画」や市の関連計画と整合性を図りつつ、令和元年度から自殺対策を総合的に進めています。

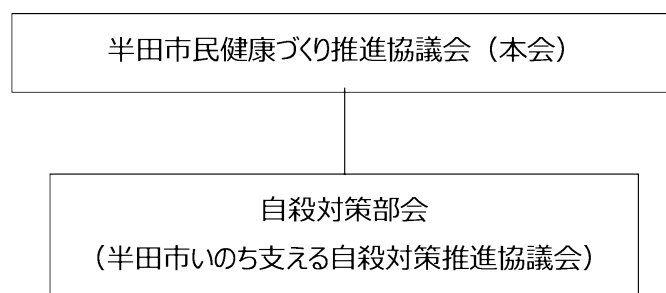
また本計画の期間は、1 年間の延長により令和元年度から令和 6 年度としており、次期計画策定時には「第 3 次健康はんだ 2 1 計画（健康増進計画）」と統合する予定です。

＜参考＞ 国、愛知県、半田市の計画期間

年度	H30	H31 /R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
国	(H25 年度～) 健康日本 2 1 (第二次)					延長	次期 (～R15 年度)					
					自殺総合対策 大綱改正							
愛知県	(H25 年度～) 健康日本 2 1 あいち新計画					延長	次期 (～R15 年度)					
	第 3 期あいち自殺対策総合計画					第 4 期愛知県自殺対策推進計画						
半田市	(H26 年度～) 第 2 次健康はんだ 2 1 計画					延長/ 策定	第 3 次健康はんだ 2 1 計画 (～R16 年度) ※R11 年度：中間評価/見直し					
	策定	半田市自殺対策計画				延長/ 策定	第 2 次半田市自殺対策計画 (～R11 年度)					

2 計画の策定体制について

令和 6 年度の第 3 次健康はんだ 2 1 計画の策定にあたり、「半田市民健康づくり推進協議会」(以下、本会)を設置し、本協議会は、自殺対策に関する協議のための「専門部会」(以下、自殺対策部会)として位置づけます。



3 委員の構成

・本会

No	所属
1	医療関係者（医師会）
2	医療関係者（歯科医師会）
3	医療関係者（薬剤師会）
4	学識経験者
5	経済関係者
6	地域団体（高齢者関係）
7	地域団体（女性関係）
8	地域団体（運動関係）
9	地域団体（食育関係）
10	地域団体（子ども関係）
11	行政機関（保健所長）
12	※自殺対策部会 代表委員
13	※自殺対策部会 代表委員

・自殺対策部会

No	所属	氏名
1	医療関係者（医師会）	新海 眞
2	行政機関（保健所）	坪井 信二
3	学識経験者	高橋 聡
4	経済関係者	秋野 恭子
5	地域団体（自殺関係）	加藤 昌子
6	民生委員・児童委員関係者	長坂 憲一
7	半田市社会福祉協議会	中根 靖幸
8	学校関係（学校教育課指導主事）	高下 隆史
9	福祉部長	竹部 益世

4 実施スケジュール（令和6年度）

開催月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
本会		第1回	第2回		第3回				第4回		
自殺対策部会	第1回		第2回			幹部会	全員協議会	パブコメ			幹部会 全員協議会

委員のみならずには、自殺対策部会へのご出席をよろしくお願いします。

また、自殺対策部会から代表して2名の方に、本会へのご出席をお願いする予定です。